

共同運営部門：りんくうウェルネスケア研究センター

―科名変更履歴等―

2018年度(平成30年度) りんくうウェルネスケア研究センター 開設

―概要―

当センターは従来の診療ごとの役割とは違う観点から研究マインドをもっておりんくうおよびこの泉南地域の特色を活かした事業を多彩に進めていきたいと思ひます。「生涯リスクを知り健康を維持するウェルネス」「多職種かつ施設間で連携して疾患と闘うケア」「地域の活性化や医療者の活躍のための働き方アクティビティ」をあげ、これらに関する事項を総合的に研究します。

りんくうウェルネスケア研究センターは英語名をRinku Innovation Center for Wellness Care and Activities (RICWA、リクワ)としています。

この名称に含まれる3つの単語、「Wellness ウェルネス」「Care ケア」「Activity アクティビティ」を3本の柱としてセンター事業を展開したいと思ひています。

ウェルネス:人は寿命を延ばすことだけが人生の目的ではありません。健康でかつ安心な状態であることが望まれますが、この状態をウェルネスといひます。健康診断を受けることにより現在健康かどうかは判明しますが、その結果から将来を予測することは難しいと言ひわれています。しかし将来起こる疾患が予測できるならよりウェルネスを向上させられると思ひれます。

当センターでは健康診断を通じて生涯リスクを予測できるよう検討を進め受診率の向上に務め、病気を起こす前の状態(＝未病と言ひます)の発見や改善につながる生活習慣への介入を行い、現在この地域の方々さらにはこの国のウェルネスをさらに深めたいと思ひています。

ケア:我が国においては多くの医療機関があり様々な業態がありますが、地域連携においてスムーズな情報提供がなされているとは言えない状況です。また、医療の中においても医師だけではなく事務職やメディカルスタッフ(看護師・栄養士・臨床検査技師・保健師・放射線技師など)が多く活躍していますが、その連携にはまだまだ工夫が必要です。患者さんとともに疾患と戦う医療者として、いずれの「連携」も極めて重要でありその滑らかさが重要です。そこで、これら医療者間の連携を、負担を増やさずにスムーズにする手法について検討を行い、地域における医療の効率化を考えていきたいと思ひます。

アクティビティ:医療の業界のみならず長時間労働や負担の多い仕事が本来の仕事を妨げ、医療者が活躍できる状態から離れる事態に陥りやすくなっており、業務改善が強く求められます。また、地域の人口減や営業力の低下など過疎化の進行も大きな問題です。しかし、医療者や地域住人がしっかりと活躍できるような状況を作り出していけるのであれば、もっとアクティビティ＝活力は向上していくと思ひれます。「ウェルネス・ケア」を中心とした地域健康管理や健康事業を増進していくため様々な提言をしていくことによりもっとアクティビティの上昇する状態にしたいと思ひます。

「ウェルネス」「ケア」「アクティビティ」をキーワードに、得られた結果をアウトプットし、「りんくうウェルネスケア」をブランディングしこの地域の「特色」として我が国のモデルとなるよう進めていきたいと思ひます。

―研究業績数―

	2011年度 (平成23年度)	2012年度 (平成24年度)	2013年度 (平成25年度)	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度 令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	計
英文原著、 総説、著書								10	7	18	35
和文原著、 総説、著書								8	7	12	27
国際学会報告								4	1	0	5
国内学会報告								14	19	12	45
研究会・講演会								20	16	6	42
学術講演・講義								9	19	5	33
院内研究活動								2	3	0	5
社会貢献								3	0	0	3
座長								5	2	0	7
計								75	74	53	202

平成30年度

(1) 英文原著, 総説, 著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	Comparison of effects of anagliptin and alogliptin on serum lipid profile in type 2 diabetes mellitus patients.	Kurozumi A, Masuda D, Yamashita S, et al.	J Diabetes Investig.	2018;9(2):360-365. doi: 10.1111.jdi.12739.
2	Effects of a Dipeptidyl Peptidase 4 Inhibitor Sitagliptin on Glycemic Control and Lipoprotein Metabolism in Patients with Type 2 Diabetes Mellitus (GLORIA Trial).	Masuda D, Yamashita S, et al.	J Atheroscler Thromb.	2018;25(6):512-520. doi: 10.5551.jat.41343.
3	Accelerated Atherogenicity in Tangier Disease.	Muratsu J, Masuda D, Yamashita S, et al.	J Atheroscler Thromb.	2018;25(10):1076-1085. doi: 10.5551.jat.43257.
4	Clinical features and visual function in a patient with Fish-eye disease: Quantitative measurements and optical coherence tomography.	Kanai M, Masuda D, et al.	Am J Ophthalmol Case Rep.	2018;10:137-141. doi: 10.1016/j.ajoc.2018.02.016.
5	A Novel Selective PPAR α Modulator (SPPARM α), K-877 (Pemaifibrate), Attenuates Postprandial Hypertriglyceridemia in Mice.	Sairoy M, Kobayashi T, Masuda D, Yamashita S, et al.	J Atheroscler Thromb.	2018;25(10):1086. doi: 10.5551.jat.ER39693.
6	Cultural Barriers in the Treatment of Dyslipidemia: A Survey of Japanese Physician Attitudes.	Yamashita S, Masuda D, et al.	J Atheroscler Thromb.	2019;26(2):154-169. doi: 10.5551.jat.44677.
7	Pressure Overload Impairs Cardiac Function in Long-Chain Fatty Acid Transporter CD36-Knockout Mice.	Nakatani K, Masuda D, Kobayashi T, Yamashita S, et al.	Int Heart J.	2019;60(1):159-167. doi: 10.1536.ihj.18-114.
8	Shotgun proteomic analysis reveals proteome alterations in HDL of patients with cholesteryl ester transfer protein deficiency.	Okada T, Kobayashi T, Masuda D, Yamashita S, et al.	J Clin Lipidol.	2019; S1933-2874(19)30002-9. doi: 10.1016/j.jacl.2019.01.002.
9	Rivaroxaban Suppresses the Progression of Ischemic Cardiomyopathy in a Murine Model of Diet-Induced Myocardial Infarction.	Liu J, Masuda D, Yamashita S, et al.	J Atheroscler Thromb.	2019 Mar 14. doi: 10.5551.jat.48405.
10	Clinical Applications of a Novel Selective PPAR α Modulator, Pemaifibrate, in Dyslipidemia and Metabolic Diseases.	Yamashita S, Masuda D, Matsuzawa Y.	J Atheroscler Thromb.	2019 Mar 30. doi: 10.5551.jat.48918. [Epub ahead of print]

(2) 和文原著, 総説, 著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	識る 9. 高トリグリセリド血症 食後高脂血症と動脈硬化	増田大作	月刊Heart View, メジカルビュー社	2018年7月号 特集「脂質代謝異常と循環器疾患」
2	女性と肥満	増田大作	日本女性医学会雑誌, 一般社団法人日本女性医学会	2018年25号 「シンポジウム4: 女性医療における循環器疾患～心血管病予防に向けた女性のオーダーメイド医療」
3	高TG血症の管理と治療 3. 治療薬剤 1) フィブラート系	増田大作	最新医学 別冊 診断と治療のABC, 最新医学社	138「高TG血症」, 2018
4	食後高脂血症の病態と治療	増田大作	Pharma Medica 2018年10月号 ビヨンドコレステロール時代の動脈硬化リスク管理, メディカルレビュー社	Vol 36(10):29-34, 2018
5	小腸コレステロールトランスポーター阻害薬	増田大作	medicina 2018増刊号「プライマリ・ケアでおさえたい重要薬・頻用薬」	Vol 55(4):294-296, 2018
6	HDLの多面的作用と高HDL血症の新展開	増田大作	Medical Science Direct, ニューサイエンス社	Vol 44(14): 28(776)-31(779), 2018
7	4. スタチン治療後の高トリグリセリド血症, 次の一手を教えてください	増田大作	Modern Physician 第39巻第2号 特集スタチンを使いこなす! 18のクリニカル・パルズ, 新興医学出版社	Vol39No2:201-204, 2019
8	食後高脂血症, カイロミクロンレムナント代謝の評価のためのアポ蛋白B-48測定	増田大作	医学のあゆみ Vol268No.5 動脈硬化UPDATE, 医歯薬出版株式会社	Vol268(5):399-401, 2019

(3) 国際学会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	Japanese Guidelines for Preventing Cardiovascular Diseases and the Usage of Moderate Intensity Statins on Eligible Case	Daisaku Masuda	Joint Expert Symposium of the Korean Society of Lipid & Atherosclerosis (KSoLA) Session A	Oral	2018.5.26

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
2	Appropriate Use of statin for Elderly dyslipidemic patients (Japanese Guidelines for Preventing Cardiovascular Diseases and the Usage of Moderate Intensity Statins on Eligible Case)	Daisaku Masuda	Joint Expert Symposium of the Korean Society of Lipid & Atherosclerosis (KSoLA) Session B	Oral	2018.5.26
3	Appropriate Use of statin for Elderly dyslipidemic patients (Japanese Guidelines for Preventing Cardiovascular Diseases and the Usage of Moderate Intensity Statins on Eligible Case)	Daisaku Masuda	Joint Expert Symposium of the Korean Society of Lipid & Atherosclerosis (KSoLA) Session C	Oral	2018.5.28
4	Appropriate Use of statin for Elderly dyslipidemic patients (Japanese Guidelines for Preventing Cardiovascular Diseases and the Usage of Moderate Intensity Statins on Eligible Case)	Daisaku Masuda	Joint Expert Symposium of the Korean Society of Lipid & Atherosclerosis (KSoLA) Session D	Oral	2018.5.28

(4) 国内学会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017による心血管イベントリスク評価と治療	増田大作	動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017年版普及啓発セミナー(日本動脈硬化学会主催)	口演	2018.4.7
2	動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017による心血管イベントリスク評価と治療	増田大作	第91回日本産業衛生学会	口演	2018.5.17
3	メディカルスタッフセッション1 動脈硬化性疾患に関するEBMと未病対策の確立に向けて 共催:日本未病システム学会 MSS1-2.「日本動脈硬化学会の予防医療に対するEBMと提案」	増田大作	第50回日本動脈硬化学会総会・学術集会	口演	2018.7.12-14
4	メディカルスタッフセッション2 動脈硬化の抑制のためこれからの薬剤師に求められることはなにか 共催:一般社団法人日本在宅薬学会 MSS2-2.「動脈硬化性疾患抑制のための脂質異常症の管理と投薬管理上の問題点」	増田大作	第50回日本動脈硬化学会総会・学術集会	口演	2018.7.12-14
5	メディカルスタッフセッション4 実症例から学ぶ動脈硬化性疾患と臨床検査の関係 MSS4-2.「生化学脂質検査の計算項目と脂質異常症の発掘ー臨床検査部からの情報発信ー」	花田浩之	第50回日本動脈硬化学会総会・学術集会	口演	2018.7.12-14
6	メディカルスタッフセッション4 実症例から学ぶ動脈硬化性疾患と臨床検査の関係 MSS4-3.「治療介入後の臨床検査結果と病態との関係と注目点」	増田大作	第50回日本動脈硬化学会総会・学術集会	口演	2018.7.12-14
7	メディカルスタッフのための動脈硬化症例検討「動脈硬化を診る,栄養はどうする,治療はどうする」	増田大作, 花田浩之	第50回日本動脈硬化学会総会・学術集会	口演	2018.7.12-14
8	日本産業衛生学会合同シンポジウム〜働く世代の動脈硬化性疾患制圧に向けて〜 GS-2.「動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017による心血管イベントリスク評価と治療」	増田大作	第50回日本動脈硬化学会総会・学術集会	口演	2018.7.12-14
9	シンポジウム2:糖尿病と動脈硬化「糖尿病に合併する脂質異常のアポリポ蛋白B-48による動脈硬化惹起性の評価」	増田大作	第33回日本糖尿病合併症学会,第24回日本糖尿病眼学会総会	口演	2018.10.19-20
10	Co-Medical Sessions特別講演「家族性高コレステロール血症(Familial Hypercholesterolemia, FH)の診断と治療」	増田大作	Complex Cardiovascular Therapeutics, CCT	口演	2018.10.26-28
11	シンポジウム:未病の可視化と臨床検査「ゴースト血管の検出における未病状態の評価」	花田浩之	第25回日本未病システム学会学術総会	口演	2018.10.27-28
12	シンポジウム:未病の可視化と臨床検査「未病の状態から脳心血管イベントリスク状態までの包括的な動脈硬化惹起性の評価についての考察」	増田大作	第25回日本未病システム学会学術総会	口演	2018.10.27-28
13	ランチョンセミナー8「レムナントコレステロールと動脈硬化」	増田大作	2018年度日本臨床衛生検査技師会近畿支部医学検査学会(第58回)	口演	2018.12.1
14	栄養セミナー「動脈硬化性疾患患者の栄養管理」	増田大作	日本動脈硬化学会第19回動脈硬化教育フォーラム	口演	2019.2.3

(5) 研究会・講演会

番号 整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	脂質異常症の治療はなんのため?〜薬剤師さんに見つけて欲しい異常と望まれる介入〜	増田大作	Pfizer Essential Academy 管理薬剤師ネクスト講座セッション1 薬剤師としての将来の方向性と展望〜マインドセットの変化がもたらす新たな可能性〜	2018.4.15

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
2	【Case Study】実践！学んだことを明日実行するために	増田大作, 狭間研至	Pfizer Essential Academy 管理薬剤師ネクスト講座 セッション1 薬剤師としての将来の方向性と展望～マインドセットの変化がもたらす新たな可能性～	2018.4.15
3	未病と毛細血管	増田大作	日本薬局協会の大阪合同総会	2018.5.13
4	CML患者におけるTKI使用時の脳心血管イベントリスク スクリーニングとモニタリング	増田大作	Hematology Endocrinology Cardiology.HEC Consultation Meeting	2018.6.8
5	乾癬患者における脳心血管イベントの管理	増田大作	南大阪合併症マネジメントセミナー	2018.6.27
6	動脈硬化予防の観点から糖尿病合併脂質代謝異常に対する治療	増田大作	泉州地区糖尿病治療戦略2018	2018.7.7
7	動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017を踏まえた高TG血症の評価と治療	増田大作	第15回地域連携で診る循環器疾患勉強会	2018.7.21
8	動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017～積極的脂質低下療法の重要性～	増田大作	紀南動脈硬化疾患学術講演会	2018.8.2
9	動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017による心血管イベントリスク評価と治療	増田大作	動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017年版普及啓発セミナー	2018.8.22
10	第2部講演「人は血管とともに老いる 動脈硬化の実態と健診」	増田大作	第13回JML元気セミナー	2018.8.22
11	動脈硬化予防の観点から糖尿病合併脂質代謝異常に対する治療	増田大作	Table Discussion MTG in IKEDA	2018.9.1
12	動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017～積極的脂質低下療法の重要性～	増田大作	Lipid Forum in 北多摩	2018.9.12
13	心血管イベント抑制のための残余リスクの重要性	増田大作	第15回播磨動脈硬化研究会	2018.9.20
14	動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017～積極的脂質低下療法の重要性～	増田大作	脂質異常症 Leaders Meeting in Okayama	2018.9.21
15	Current Disease Management and Guidelines -Current Guidelines for the Management of Dyslipidemia and Primary,Secondary prevention-	Daisaku Masuda	Daichi-Sankyo 1st Cardiovascular Forum	2018.9.22
16	動脈硬化予防の観点から糖尿病合併脂質代謝異常に対する治療	増田大作	堺学友会学術講演会	2018.10.13
17	動脈硬化性疾患予防のための残余リスクとしての高TG血症の評価と治療	増田大作	生活習慣病カンファレンス名古屋	2018.10.27
18	動脈硬化性疾患予防のための残余リスクとしての高TG血症の評価と治療	増田大作	広島動脈硬化治療を考える会	2018.11.6
19	動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017～積極的脂質低下療法の重要性～	増田大作	第39回りんくう循環器ネットワーク研究会	2018.11.17
20	FHを見つける・診断する・治療する	増田大作	Sensyu FH Network	2018.12.22

(6) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	日本動脈硬化学会ガイドライン2017の活用法～若年者における心血管イベントを回避させるために	増田大作	貝塚市医師会講演会	2018.9.20
2	メディカルスタッフ向けセミナー「FHの薬物療法」	増田大作	一般社団法人日本動脈硬化学会FH疾患啓発研修会	2018.10.21
3	動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017の活用法～若年者における心血管イベントを回避させるために	増田大作	泉佐野薬剤師会研修会	2018.11.8
4	健康長寿のモデルを目指した健康診断の役割について	増田大作	「りんくうタウン 安全・安心のまちづくり」講演会	2018.11.20
5	脂質異常の管理計画とリスク評価	増田大作	日本循環器病予防協会主催保健指導レベルアップセミナー	2018.12.8
6	脂質異常症の薬物療法の基本	増田大作	日本循環器病予防協会主催保健指導レベルアップセミナー	2018.12.8
7	家族性高コレステロール血症の発見と診断―地域・職域における動脈硬化予防―	増田大作	2018年度「泉佐野保健所管内 地域・職域連携推進会議」	2019.1.22
8	2018年度 健康講座 コレステロール,高いとこんなに危ない!!	増田大作	熊取町主催 2018年度健康講座	2019.1.29
9	動脈硬化リスクとしての高トリグリセライドの評価と治療	増田大作	北葛城地区・大和高田医師会学術講演	2019.3.23

(7) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	RICWAの理念とその活動～多職種連携を科学的にサポートする～	増田大作	多職種カンファレンス	2018.9.19
2	動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017～積極的脂質低下療法の重要性～	増田大作	第39回りんくう循環器ネットワーク研究会	2018.11.17

(8) 社会貢献

番号 整理	氏 名	委託委員名	委託組織	委託期間
1	増田大作	評議員, 広報・啓発委員, メディカルスタッフ・若手育成部会員, 栄養部会員, 高血圧・循環器病療養指導士委員	日本動脈硬化学会	2018.4.1-2019.3.31
2	増田大作	評議員	日本未病システム学会	2018.4.1-2019.3.31
3	増田大作	評議員	日本循環器病予防学会	2018.4.1-2019.3.31

(9) 座長

番号 整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	メディカルスタッフセッション1 動脈硬化性疾患に関するEBMと未病対策の確立に向けて 共催: 日本未病システム学会 MSS1-2. 「日本動脈硬化学会の予防医療に対するEBMと提案」	増田大作	第50回日本動脈硬化学会総会・学術集会	2018.7.12-14
2	メディカルスタッフセッション2 動脈硬化の抑制のためこれからの薬剤師に求められることはなにか 共催: 一般社団法人日本在宅薬学会 MSS2-2. 「動脈硬化性疾患抑制のための脂質異常症の管理と投薬管理上の問題点」	増田大作	第50回日本動脈硬化学会総会・学術集会	2018.7.12-14
3	メディカルスタッフセッション4 実症例から学ぶ動脈硬化性疾患と臨床検査の関係 MSS4-3. 「治療介入後の臨床検査結果と病態との関係と注目点」	増田大作	第50回日本動脈硬化学会総会・学術集会	2018.7.12-14
4	メディカルスタッフのための動脈硬化症例検討 “動脈硬化を診る, 栄養はどうする, 治療はどうする”	増田大作, 花田浩之	第50回日本動脈硬化学会総会・学術集会	2018.7.12-14
5	メディカルスタッフ向けセミナー「FHの薬物療法」	増田大作	一般社団法人日本動脈硬化学会FH疾患啓発研修会	2018.10.21

 平成31年度・令和元年度

(1) 英文原著, 総説, 著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号): ページ, 年
1	Progranulin deficiency leads to enhanced age-related cardiac hypertrophy through complement C1q-induced β -catenin activation.	Zhu Y, Masuda D, Yamashita S, et al.	J Mol Cell Cardiol.	2019; S0022-2828(19)30399-2.
2	Clinical Applications of a Novel Selective PPAR α Modulator, Pemafibrate, in Dyslipidemia and Metabolic Diseases	Yamashita S, Masuda D, et al.	J Atheroscler Thromb.	2019;26(5):389-402.
3	Rivaroxaban Suppresses the Progression of Ischemic Cardiomyopathy in a Murine Model of Diet-Induced Myocardial Infarction.	Liu J, Masuda D, Yamashita S, et al.	J Atheroscler Thromb.	2019;26(10):915-930.
4	Shotgun proteomic analysis reveals proteome alterations in HDL of patients with cholesteryl ester transfer protein deficiency.	Okada T, Masuda D, Yamashita S, et al.	J Clin Lipidol.	2019;13(2):317-325.
5	Postprandial Glucose and Triglyceride Increases Along with the Endothelial Malfunction were Attenuated by the Administration of SGLT2 Inhibitor, Empagliflozin.	Masuda D and Yamashita S.	J Atheroscler Thromb.,	2020 Jan 31. In press
6	Pemafibrate, a New Selective PPAR α Modulator: Drug Concept and Its Clinical Applications for Dyslipidemia and Metabolic Diseases.	Yamashita S, Masuda D, et al.	Curr Atheroscler Rep.	2020;22(1):5.
7	Omega-3 fatty acid ethyl esters improve low-density lipoprotein subclasses without increasing low-density lipoprotein-cholesterol levels: A phase 4, randomized study.	Masuda D, Yamashita S, et al.	Atherosclerosis.	2020;292:163-170.

(2) 和文原著, 総説, 著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号): ページ, 年
1	特集にあたって 脂質異常症治療の最前線を追え!	増田大作	調剤と情報 株式会社じほう	2019年6月, 25(8), p7(1147).
2	脂質異常症とは 特集 脂質異常症治療の最前線を追え!	増田大作	調剤と情報 株式会社じほう	2019年6月, 25(8), p8-15(1148-1155)
3	大阪泉南地域の連携を生かした動脈硬化性疾患の予防 ガイドラインによる評価と家族性高コレステロール血症の発見 リレー連載列島ランナー	増田大作	公衆衛生 医学書院	2019年6月, 83(6) p477-481.
4	アボB-48	増田大作	動脈硬化診療のすべて 日本医師会編	2019年11月
5	1心不全と脂肪酸代謝 V心不全と脂肪酸代謝	増田大作	そうだったんだ! 脂質異常症 株式会社文光堂	pp142-145 2020年3月4日
6	食後高脂血症、カロミクロンレムナント代謝の評価のためのアボ蛋白B-48測定 動脈硬化UPDATE	増田大作	医学のあゆみ 医歯薬出版株式会社	2019, 268(5), 399-401.
7	スタチン治療後の高トリグリセライド血症、次の一手を教えてください 特集スタチンを使いこなす! 18のクリニカル・パズルズ	増田大作	Modern Physician 新興医学出版社	2019, 39(2), 201-204.

(3) 国際学会報告

番号	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	Serum Apolipoprotein B48 Concentration Is Increased After Oral Glucose Intake And High In Patients With Impaired Glucose Tolerance” AT.APS.06 Metabolism and vascular disease	Daisaku Masuda, Hiroyuki Hanada, Shizuya Yamashita	American Heart Association Scientific Sessions (Philadelphia, PA)	Poster Sessions	2019.11.16-18

(4) 国内学会報告

番号	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	動脈硬化性疾患残余リスク評価のための血清アポリポ蛋白B-48濃度の測定	増田大作	第55回日本循環器病予防学会学術集会(久留米市)	口演	2019.5.11-12
2	地域での家族性高コレステロール血症のスクリーニングによる若年層心血管イベント予防	増田大作	第55回日本循環器病予防学会学術集会(久留米市)	口演	2019.5.11-12
3	糖尿病患者における脂質異常症の合併～動脈硬化性疾患発症リスクとして～ イブニングセミナー	増田大作	第62回日本糖尿病学会年次学術集会(仙台市)	口演	2019.5.24-26
4	地域での家族性高コレステロール血症のスクリーニングによる若年層心血管イベント予防 健康診断と事後措置3	増田大作	第92回日本産業衛生学会(名古屋市)	口演	2019.5.24-26
5	動脈硬化性疾患発症予防の観点からの残余リスク制御	増田大作	第60回日本内科学会中国支部主催生涯教育講演会(岡山市)	口演	2019.6.2
6	地域での家族性高コレステロール血症のスクリーニングによる若年層心血管イベント予防 一般口演2 社会・疫学・医学理論	増田大作	第19回日本抗加齢医学会総会(横浜市)	口演	2019.6.14-16
7	肝機能障害と筋肉痛で治療が困難だった脂質異常症の50歳女性 メディカルスタッフカンファレンス	増田大作	第51回日本動脈硬化学会総会・学術集会(京都市)	口演	2019.7.11-12
8	心血管イベントリスクとしての高トリグリセリド(中性脂肪)血症の評価と治療 ランチョンセミナー2	増田大作	第51回日本動脈硬化学会総会・学術集会(京都市)	口演	2019.7.11-12
9	リスク重複の概念とリスクアセスメント 高血圧・循環器病予防療法指導士セミナー	増田大作	第51回日本動脈硬化学会総会・学術集会(京都市)	口演	2019.7.11-12
10	循環器病とリスク要因の疫学/高血圧・脂質異常管理計画とリスク評価	増田大作	日本動脈硬化学会主催 高血圧・循環器病予防療法指導士セミナー(泉佐野市)	口演	2019.8.11
11	家族性高コレステロール血症(FH)を確実に見つける・治療する/FH の発見と検査・診断	増田大作	日本動脈硬化学会主催 FH疾患啓発研修会2019(大阪市)	口演	2019.8.17
12	“健康診断で異常なし”を未病で見る	増田大作	日本未病システム学会プラクティカルセミナー(大阪市)	口演	2019.8.24
13	Lower the BetterとResidual Riskの管理	増田大作	第33回日本心臓血管内視鏡学会 コーヒーブレイクセミナー5(大阪市)	口演	2019.10.5
14	心血管イベント予防のための残余リスクの評価と治療～脂質異常症治療の新たなビューポイント～	増田大作	第40回日本肥満学会/第37回日本肥満症治療学会学術集会 ランチョンセミナーD(大阪市)	口演	2019.11.2
15	未病に対し、薬剤師と他職種に求められるものは何か、そして今後何ができるか 症例1)肥満を有する未病状態の症例 症例2)心筋梗塞後内服アドヒアランスの低い症例	増田大作	第11回日本未病学会近畿地方会(大阪市)	口演	2019.12.7
16	LDL-C499 mg/dlで紹介された50歳男性	増田大作	メディカルスタッフカンファレンスin 東京、主催 日本動脈硬化学会総会(東京都文京区)	口演	2020.1.18
17	動脈硬化性疾患患者の栄養管理	増田大作	日本動脈硬化学会第20回動脈硬化教育フォーラム栄養セミナー(東京都)	口演	2020.2.2
18	循環器病とリスク要因の疫学	増田大作	日本動脈硬化学会第20回動脈硬化教育フォーラム高血圧・循環器病予防療法指導士セミナー(東京都)	口演	2020.2.2
19	脂質の数値ではなく動脈硬化性疾患発症リスクを有する動脈硬化惹起性リポ蛋白の多寡に着目した脳心血管疾患イベントリスクの評価	増田大作	日本総合健診医学会第48回大会・共催シンポジウム2(東京都)	口演	2020.2.8

(5) 研究会・講演会

番号	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	SpA患者における脳心血管イベントリスク管理・ガイドラインの活用法	増田大作	脊椎関節炎を考える会(ノバルティス)	2019.5.23
2	糖尿病合併脂質異常症の評価と治療	増田大作	12th SAKAI NADESHIKO FORUM	2019.5.25
3	Lower the betterとResidual riskの管理	増田大作	脂質異常症を診る	2019.6.8
4	糖尿病合併脂質異常症の評価と治療	増田大作	糖尿病・循環器疾患 学術講演会	2019.6.13
5	保健指導者スキルアップセミナー「脂質異常症の最新知見」～日本動脈硬化学会動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017・脂質異常症治療ガイド2018の活用法～	増田大作	ヘルスウェイブ講演会	2019.6.28

番 号 理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
6	The moderate-intensity statin therapy for primary prevention-Japanese Guidelines for Preventing Cardiovascular Diseases, especially in elderly patients-	Daisaku Masuda	HTN Hyperlipidemia Expert meeting	2019.7.6
7	脳心血管イベント抑制のための残余リスクの評価と治療	増田大作	北阪神臨床実践講習会	2019.7.20
8	脂質異常症合併糖尿病のリスク評価と治療	増田大作	関西産業医のつどい	2019.7.24
9	動脈硬化性疾患予防のための残余リスクとしての高TG血症の評価と治療	増田大作	TarGet Residual Risk-高TG血症を再考する	2019.8.3
10	Lower the betterとResidual riskの管理	増田大作	OMMC循環器臨床懇話会2019	2019.9.7
11	脳心血管イベントリスクとしての睡眠時無呼吸症候群の評価と治療	増田大作	泉州睡眠呼吸障害フォーラム	2019.11.23
12	Lower the betterとResidual riskの管理	増田大作	道北循環器フォーラム	2019.12.3
13	DPP-4阻害薬/SGLT-2阻害薬 配合剤の有用性	増田大作	Diabetes Boat Camp	2019.12.27
14	動脈硬化性疾患予防のための残余リスクとしての高TG血症の評価と治療	増田大作	第65回大阪産業医学研究会	2020.1.20
15	糖尿病合併脂質異常症の評価と治療	増田大作	第4回糖尿病・循環器Joint Festa	2020.1.30
16	動脈硬化惹起的解ロミクロンレムナントに対するペマフィブラートの影響	増田大作	SPPARM α EXPO 2020 in West Japan	2020.2.23

(6) 学術講演・講義

番 号 理	演 題	発 表 者	学 術 講 演 会 名	年 月 日
1	生活習慣病を中心とした逆紹介～高血圧・脂質異常症の薬物治療を含めたスムーズな連携とは	増田大作	第5回りんくうメディカルネットワーク(泉佐野市)	2019.4.13
2	動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017の活用法～冠動脈疾患の発症を予防するために～	増田大作	伊都医師会講演会	2019.6.8
3	高トリグリセリド血症で紹介された22歳女性	増田大作	日本動脈硬化学会主催 メディカルスタッフカンファレンスin神戸(神戸市)	2019.6.22
4	健康長寿のために病気を予防しよう	増田大作	泉佐野商工会議所主催 経営者健康セミナー(泉佐野市)	2019.8.21
5	Lower the Better とResidual Riskの管理	増田大作	和歌山県薬剤師会那賀薬剤師会	2019.9.12
6	生活習慣の高血圧・脂質異常・循環器疾患へのリスクと介入効果	増田大作	日本動脈硬化学会主催 高血圧・循環器病予防療法指導士セミナー(神戸市)	2019.9.29
7	動脈硬化が起こす病気を知ろう！・家族性高コレステロール血症	増田大作	いずみさの健康フェスタ(泉佐野市)	2019.10.6
8	公衆衛生学講義 公衆衛生の歴史・法的根拠・健康づくりの拠点等、生活習慣病対策・特定健診・特定保健指導、がん検診等健康増進事業・介護予防事業、感染症対策・感染症法・結核等疾病別対策・予防接種、自殺予防対策・たばこ対策、健康危機管理・災害対策	増田大作	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2019.10.15 -11.5
9	家族性高コレステロール血症と対策	増田大作	大阪府泉佐野保健所 令和元年度脳卒中予防対策推進ワーキング会議(泉佐野市)	2019.10.17
10	脳疾患イベント抑制のための残余リスクの評価と治療	増田大作	河内長野市医師会講演会	2019.10.19
11	ウォーキングで健康と地域見守りあい	増田大作	令和元年度たじりっち体操推進員講座(田尻町)	2019.11.5
12	イベントリスク低減を目指した糖尿病合併脂質異常症の評価と治療	増田大作	第41回りんくう循環器ネットワーク研究会(泉佐野市)	2019.11.9
13	心血管イベント予防のための残余リスクの評価と治療	増田大作	豊田加茂内科医会学術講演会	2019.11.13
14	心血管イベントとSAS	増田大作	泉州睡眠呼吸障害フォーラム(泉佐野市)	2019.11.23
15	とにかく下げればリスクが減るの？～代謝メカニズムで考え介入する脂質異常症～	増田大作	大阪府栄養士会主催 令和元年度健康づくり提唱のつどい(大阪市)	2019.11.30
16	脳心血管イベント抑制のための脂質異常症管理の新展開	増田大作	神戸市医師会主催・神戸市医師会生涯教育講演会(神戸市)	2020.1.11
17	泉佐野保健所主催働く世代からの循環器疾患対策研修会	増田大作	泉佐野保健所主催・働く世代からの循環器疾患対策研修会(田尻町)	2020.1.21
18	コレステロール、高いとこんなに危ない！～皆さんに知っていただきたいアブラのはなし～	増田大作	岬町主催・家族性高コレステロール血症に関する講演会(岬町)	2020.2.14
19	動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017による心血管イベントリスク評価と治療	増田大作	一般社団法人日本動脈硬化学会主催プレスセミナー(東京都)	2020.2.21

(7) 院内研究活動

番号	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	コレステロール、高いとこんなに危ない！～若い人に起こる脳や心臓の病気を起こさないために！	増田大作	りんくう総合医療センター市民健康講座 (泉佐野市)	2019.5.18
2	りんくうウェルネスケア研究センター	増田大作	りんくうメッセージ	2019.7.1
3	脳心血管イベントリスクとしての睡眠時無呼吸症候群の評価と治療	増田大作	クリニカルレベルアップセミナー (泉佐野市)	2020.1.23

(8) 座長

番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	ポスター 1-16:食事療法・機能性食品・運動療法 (1)	増田大作	日本動脈硬化学会総会・学術集会	2019.7.11
2	ランチョンセミナー3	増田大作	日本総合健診医学会第48回大会	2020.2.7



令和2年度

(1) 英文原著, 総説, 著書

整理番号	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	Progranulin deficiency leads to enhanced age-related cardiac hypertrophy through complement C1q-induced β -catenin activation	Yinghong Zhu, Takeshi Okada, Daisaku Masuda, Shizuya Yamashita, et al	J Mol Cell Cardiol	138:197-211, 2020
2	Evolocumab effects on lipoproteins, measured by high-performance liquid chromatography	Daisaku Masuda, Shizuya Yamashita, et al	J Atheroscler Thromb	27(11):1183-1207, 2020
3	New horizons for an old, mysterious drug probucol	Shizuya Yamashita, Daisaku Masuda, et al	J Atheroscler Thromb	28(2):100-102, 2021
4	Postprandial glucose and triglyceride increases along with the endothelial malfunction were attenuated by the administration of SGLT2 inhibitor, empagliflozin	Daisaku Masuda, Shizuya Yamashita	J Atheroscler Thromb	27(7):637-638, 2020
5	Marked effects of novel selective peroxisome proliferator-activated receptor α modulator, pemafibrate in severe hypertriglyceridemia: preliminary report	Chie Iitake, Daisaku Masuda, Shizuya Yamashita, et al	Cardiovasc Diabetol	19:201, 2020
6	Development and clinical application of an enzyme-linked immunosorbent assay for oxidized high-density lipoprotein	Takeshi Okada, Daisaku Masuda, Shizuya Yamashita, et al	J Atheroscler Thromb	2020 Oct 6. doi: 10.5551/jat.56887. Online ahead of print
7	Guidelines on the clinical evaluation of medicinal products for treatment of dyslipidemia	Shizuya Yamashita, Daisaku Masuda, et al	J Atheroscler Thromb	27(11):1246-1254, 2020
8	Probuco Trial for Secondary Prevention of Atherosclerotic Events in Patients with Coronary Heart Disease (PROSPECTIVE)	Shizuya Yamashita, Daisaku Masuda, et al	J Atheroscler Thromb	28(2):103-123, 2021
9	Distinct differences in lipoprotein particle number evaluation between GP-HPLC and NMR: analysis in dyslipidemic patients administered a selective PPAR α modulator, pemafibrate	Shizuya Yamashita, Takeshi Okada, Daisaku Masuda, et al	J Atheroscler Thromb	in press
10	Integrated analysis of two probucol trials for the secondary prevention of atherosclerotic cardiovascular events -PROSPECTIVE and IMPACT-	Hidenori Arai, Daisaku Masuda, Shizuya Yamashita, et al	J Atheroscler Thromb	in press
11	Effectiveness and safety of lipid-lowering drug treatments in Japanese patients with familial hypercholesterolemia: Familial Hypercholesterolemia Expert Forum (FAME) Study	Shizuya Yamashita, Daisaku Masuda, et al	J Atheroscler Thromb	in press
12	Serum HDL-cholesterol level does not influence cardiovascular event rate under sufficient lowering of LDL-cholesterol by pitavastatin in patients with stable coronary artery disease	Daisaku Masuda, Shizuya Yamashita	J Atheroscler Thromb	2021 Mar 24. doi: 10.5551/jat.ED165. Online ahead of print.
13	Factors associated with carotid atherosclerosis and Achilles tendon thickness in Japanese patients with familial hypercholesterolemia: a subanalysis of the Familial Hypercholesterolemia Expert Forum (FAME) Study	Masatsune Ogura, Daisaku Masuda, Shizuya Yamashita, et al	J Atheroscler Thromb	in press
14	Pemafibrate, a new selective PPAR α modulator: Drug concept and its clinical applications for dyslipidemia and metabolic diseases	Shizuya Yamashita, Daisaku Masuda, et al	Curr Atheroscler Rep	22(1):5, 2020 doi: 10.1007/s11883-020-0823-5.
15	Current diagnosis and management of primary chylomicronemia	Hiroaki Okazaki, Daisaku Masuda, Shizuya Yamashita, et al	J Atheroscler Thromb	in press

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
16	Abdominal obesity, and not general obesity, is associated with a lower 123I MIBG heart-to-mediastinum ratio in heart failure patients with preserved ejection fraction.	OCVC-Heart Failure Investigators(Daisaku Masuda, Shizuya Yamashita).	Eur J Nucl Med Mol Imaging.	in press
17	Study protocol for the PURSUIT-HFpEF study: a Prospective, Multicenter, Observational Study of Patients with Heart Failure with Preserved Ejection Fraction.	OCVC-Heart Failure Investigators(Daisaku Masuda, Shizuya Yamashita).	BMJ Open.	2020 Oct 15; 10(10):e038294.
18	Diastolic index as a short-term prognostic factor in heart failure with preserved ejection fraction.	OCVC-Heart Failure Investigators(Daisaku Masuda, Shizuya Yamashita).	Open Heart.	2020 Dec;7(2):e001469.

(2) 和文原著, 総説, 著書

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	食後高脂血症と動脈硬化	増田大作	Therapeutic Research, ライフサイエンス出版	2020;41(4):261-263
2	コレステロールよりも怖い? 「レムナント」	増田大作	「食と健康 ホントの話」(連載)、タ刊フジ	4月4日号
3	食後高脂血症主因「レムナント」測る3方法	増田大作	「食と健康 ホントの話」(連載)、タ刊フジ	4月11日号
4	動脈硬化の抑制は薬だけでは不十分 とくに食事に気をつけよう	増田大作	「食と健康 ホントの話」(連載)、タ刊フジ	4月18日号
5	脂質の数値ではなく動脈硬化性疾患発症リスクを有する動脈硬化惹起性リポ蛋白の多寡に着目した脳心血管疾患イベントリスクの評価	増田大作	日本総合健康診断医学会雑誌	2020年47巻6号 p660-668
6	食後に中性脂肪値が大幅に上昇! 「食後高脂血症」で動脈硬化が進む	増田大作	最新予防・医療情報「へるすあつぷ21」、株式会社法研	2020年6月号(No.428), p20-22
7	レムナント代謝異常と動脈硬化	増田大作	令和時代の脂質異常症の診断と治療update、メディカルビューポイント	Vol.41 No.8特集企画 2020年7月20日発行
8	アボB-48	増田大作	月刊糖尿病・内分泌代謝内科	第51巻第2号(2020年8月号)
9	エゼチミブと陰イオン交換樹脂(レジン)の作用点の違いはなんですか? またフィブラートはどのような患者に処方すると良いですか?	増田大作	あなたも名医! 見直し! 脂質異常症、日本医事新報社	jmed70 (冊子pp40-44, webコンテンツ) 2020年10月25日発行
10	動脈性疾患予防のための残余リスクとしての高TG血症の評価と治療	増田大作	関西産業研究会会誌 銀杏	54号「トピックス」
11	循環器疾患予防のための脂質異常症治療の基本	増田大作	日本循環器病予防学会誌、日本循環器病予防学会	第56巻第1号 p31-46 2021年3月25日発行
12	どう防ごうなおす 動脈硬化をうながし、冠動脈疾患のリスクを上げる脂質異常症 https://www.hokendohjin.co.jp/content/minnano_library/	増田大作	みんなの健康ライブラリー、保健同人社	Webコンテンツ 2021年3月31日発行

(3) 国内学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	心血管イベント残余リスクに対する治療～動脈硬化惹起的リポ蛋白の抑制を目指して～	増田大作	第52回日本動脈硬化学会総会・学術集会ランチョンセミナー(Web開催)	口演	2020.7.17
2	女性の脂質異常症に対し、どう判断し、指導していくか	増田大作	第52回日本動脈硬化学会総会・学術集会<保健師関連企画>ライフステージにあわせた動脈硬化対策(Web開催)	口演	2020.7.17
3	PCSK9阻害薬エボロクマブのリポ蛋白サブクラスへの作用: 高感度ゲル濾過高速液体クロマトグラフィー(HPLC)法を用いた検討	増田大作	第52回日本動脈硬化学会総会・学術集会2-4 リポ蛋白代謝・リポ蛋白受容体(Web開催)	ポスター	2020.7.17
4	LDL-C 499mg/dlで紹介された50歳男性	増田大作	日本動脈硬化学会第52回日本動脈硬化学会総会・学術集会メディカルスタッフカンファレンス(Web開催)	口演	2020.7.17
5	A6 高血圧・脂質異常症・糖尿病(メタボリックシンドローム)の指導に役立つエビデンス	増田大作	日本循環器病予防学会(Web公開) 高血圧・循環器病予防療養指導士Webセミナー	口演	2020.7.27以降
6	動脈硬化惹起的リポ蛋白の観点から見た心血管イベントリスクの評価と治療	増田大作	第84回日本循環器学会学術集会モーニングセミナー5(Web開催)	口演	2020.8.2
7	新型コロナウイルスを疑った場合の初期診療の実際	増田大作	第27回日本末病学会学術総会シンポジウム(Web開催)	口演	2020.10.31

整理番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
8	A3 脳卒中・循環器病とリスク要因の疫学	増田大作	第56回日本循環器病予防学会学術集会メディカルスタッフ向けセミナー3高血圧・循環器病予防療養指導士セミナー3(Web開催)	口演	2020.12.1
9	動脈硬化性疾患患者の栄養管理	増田大作	日本動脈硬化学会第21回動脈硬化教育フォーラム管理栄養士セミナー(Web開催)	口演	2021.2.14
10	症例5 心筋梗塞治療後メタボはコントロールできるか？	増田大作	日本動脈硬化学会第21回動脈硬化教育フォーラムメディカルスタッフセッション(Web開催)	口演	2021.2.14
11	高TG血症を見たときの動脈硬化惹起性の評価と治療	増田大作	日本動脈硬化学会第21回動脈硬化教育フォーラムスポンサードセミナー(Web開催)	口演	2021.2.14
12	Apolipoprotein B-48 concentration is a useful marker for evaluating residual CV risk and the effectiveness of medication	増田大作	日本循環器学会学術集会シンポジウム4(ハイブリッド方式開催)	口演	2021.3.24

(4) 研究会・講演会

整理番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
1	脳心血管イベント抑制のための残余リスクの評価と治療	増田大作	第14回脂質異常と動脈硬化フォーラム(ハイブリッド方式開催)	2020.9.10
2	イバブラジンと心不全治療における位置付け	増田大作	心不全管理セミナー(Web開催)	2020.10.8
3	心不全抑制を目指した糖尿病のリスク管理	増田大作	南泉州の循環器疾患を考える会(Web開催)	2020.10.28
4	動脈硬化惹起的リポ蛋白の観点から見た心血管イベントリスクの評価と治療	増田大作	東北 EPA Webinar(Web開催)	2020.11.4
5	心血管イベント抑制を目指したリポ蛋白プロファイルの改善	増田大作	PARTNER Web講演会(Web開催)	2020.11.12 2020.12.1
6	ディスカッション	増田大作	Advanced Treatment Seminar(Web開催)	2021.2.27

(5) 学術講演・講義

整理番号	演 題	発表者	学術講演会名	年月日
1	公衆衛生学講義 公衆衛生学全般(社会・生活基盤と健康・社会保障制度)、社会福祉に関する法や施策・健康と公衆衛生、成人・高齢者保健(感染症・ワクチン・生活環境、保健活動・生活習慣病、職場健康管理・法および施策)	増田大作	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2020.9.10 -10.1
2	脳心血管イベント抑制のための残余リスクの評価と治療	増田大作	松原市医師会学術講演会	2020.10.10
3	脳心血管イベント抑制のための残余リスクの評価と治療	増田大作	第37回眉山循環器カンファレンス(徳島大学循環器内科)	2020.10.26
4	non-HDLコレステロールでわかる！包括的な心血管病リスク評価	増田大作	検体測定室連携協議会共催 世界糖尿病デー・健康啓発セミナー(ハイブリッド方式開催)	2020.11.11
5	地域における心血管イベント抑制のための脂質異常症の評価と治療	増田大作	泉佐野泉南医師会学術講演会(ハイブリッド方式開催)	2021.3.13